

キャリア在り方生き方教育

「キャリア・パスポート」の活用

令和2年度から、全国の小学校から高等学校で、児童生徒が活動を記録し蓄積する「キャリア・パスポート」の取組が始まりました。学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う際に活用します。「キャリア在り方生き方教育」を推進している川崎市では、市立学校の児童生徒に配布している「キャリア在り方生き方ノート」の一部を「キャリア・パスポート」に蓄積できるようにしています。

キャリア・パスポート (表紙)

キャリア・パスポート (ファイル)



〈表面〉



〈裏面〉

共通の表紙
をファイルへ



キャリア在り方生き方ノート

一部を「キャリア・パスポート」へ蓄積



小学校1・2年生



小学校3・4年生



小学校5・6年生



中学生



高校生

学習指導要領では、「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」と示されています。学校では、何を蓄積しているのか、どのように活用しているのかについてご紹介します。

「キャリア・パスポート」には、どんなものを蓄積しているのですか？



小学校から高校卒業まで、学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自分の成長を自己評価できるものを蓄積しています。

〈中学校1年生の例〉

キャリア在り方生き方ノートの最初のページには、ミシン目が入っていて、右のような年間の目標と振り返りをキャリア・パスポートに蓄積できるようにしています。下段には先生からのメッセージや、保護者等からのメッセージ欄も設けてあります。



1 中学生になって 年 月 日 () 名簿

中学生 「なりたい自分になるため」の中学校1年生の目標を考えましょう

学習	そのためにやること
生活	そのためにやること
家庭・地域	そのためにやること
習い事・資格取得など	そのためにやること

● 今の自分をみてみよう (自分の長所・短所、得意なこと・苦手なこと、興味・関心など)

● 私の自己PR (強みやよさ)

● 今なりたい大人になりたい (職業の夢)

● その他

先生からのメッセージ

からのメッセージ

2 中学1年生を振り返ろう 年 月 日 () 名簿

● この1年間を振り返って頑張ったこと (成長できたと思うこと)

学習	その理由
生活	
家庭・地域	
習い事・資格・好きなことなど	

2年生になる自分への応援メッセージ

● 中学卒業を目前にした自分を振り返ろう

中学3年生の振り返りに、どんな変化があったか	その振り返りが生かしている学習態度(学習・授業・実習・修学旅行など)
そう思った理由やきっかけ	2年生、なりたい自分で頑張るために、今、頑張りたいこと

先生からのメッセージ

からのメッセージ

メッセージを読んで気付いたこと、考えたこと

キャリア・パスポートに蓄積する内容 (例)

- 運動会(体育祭)の個人目標と振り返り
 - 学級活動「後期のめあて」のワークシート
 - 学習発表会・連合音楽会・自然教室・修学旅行等のワークシート
 - 職場体験等のワークシート
 - 教科等の学習のまとめとしてのワークシート
- など

「キャリア在り方生き方ノート」の最初のページの他にも、左のような内容のワークシート等を、学校ごとに工夫して蓄積しています。



「キャリア・パスポート」は、どのように活用しているのですか？

★一人一人の学びの記録を残す



学校では、これまでも様々な学習の記録をファイリングしたり、クリアフォルダーに入れて掲示したりしてきました。キャリア・パスポートに蓄積することで、永久保存版として、一つのファイルにまとめることができます。一人一人の記録が残ることで、自己評価の力を高め主体的に学びに向かうことができるように活用します。



記録を振り返り、目標を書く生徒

★振り返り、次の目標を設定する



キャリア・パスポートに蓄積したものを振り返り、少し先の将来の見通しを立てて、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりするために活用します。過去の記録を読み返して気付いたことや考えたことについて話し合い、一人一人の新たな目標設定につなげていきます。

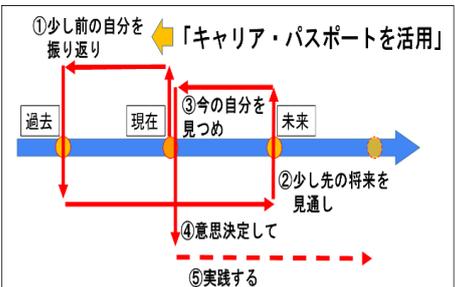


自分で決めた後期の目標を語る児童

★自分自身に自信をもち、未来に夢と希望をもつ



自分の学びを振り返り、次の目標を意思決定して実践することを通して、自己理解を深め、自尊感情を高めるとともに、実生活を自己調整し、未来に向かって夢や希望をもって歩んでいくために活用します。



キャリア・パスポート活用のイメージ図

「キャリア・パスポート」を活用することでどのような効果があるのですか？

★自己理解を深め、自尊感情を高める

記録を読み返すことによって、自分の成長に気付くことができます。また、教師や保護者、地域の方等、大人からのコメントや、直接的な対話によって、より自己理解を深めることができます。それは、自信となり、自尊感情や自己有用感を高めることにつながっていきます。

★夢や希望、目標をもって生きる態度の育成

自分の過去を振り返り、少し先の将来を見通しながら、今の自分を見つめ、意思決定して実践していくことを繰り返すとともに、うまくいかなかった経験も生かして、困難を乗り越えて努力することを通して、目標をもって主体的に生きる態度の育成につながることができます。

★学ぶことについて将来とのつながりや意義などについて考える意識の醸成

キャリア在り方生き方ノートには、将来について考えるためのページもあります。将来の夢と様々な学習活動を結びつけて、学ぶことの意義について考える活動を行い、記入した学習カードを「キャリア・パスポート」に蓄積している学校もあります。今の学びが将来の夢につながっているということに気付き、目的をもって学習に取り組もうとする意識を育みます。



将来の夢と今の学習のつながりに気付くための授業の黒板

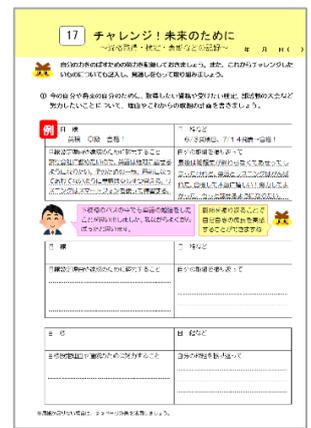
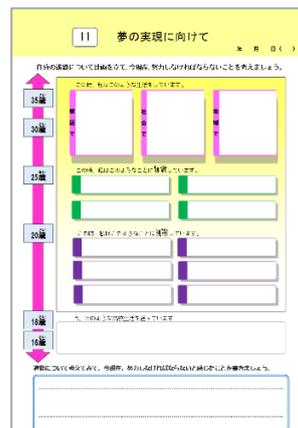
ふいかえり

今日の学級活動では、しょう来の夢と今の学習のつながりについて考えて、学習についてめあてを立てました。私はパティシエになりたいと思っています。友だちの考えから、りょう理だけでなく、外国語や社会科、理科、国語、園工などさまざまな学習が関係しているとわかりました。めあての「学年×10分」の家での学習をがんばります。

ほんらいのめあてに気づきましたね。めあてに何が関係しているか、考えればいいですね。



将来の夢って、職業に限らず、こういう人になりたいという思いも大切だね。



キャリア在り方生き方ノート「KAWASAKI」より

子どもたちに、キャリア・パスポートを活用する効果について、インタビューをしました。子どもたちの言葉からも、その効果が見えてきます。



児童生徒のインタビューより

後期のめあてを決めるのに「キャリア・パスポート」を使ってみてどうでしたか？

自分が書いたことを見返せるし、自分のことにもっと気付くことができると思います。それに、「身近にあってすぐ見れる」というのがよい点だと思います。

小学校をもうすぐ卒業するけど、中学校に進学しても、めあてを立てるときに使えると思いました。

「先生のコメント」を見て、どう思いましたか？

私は、「本当に、キラキラ輝いて見えました」って書いてもらったのですが、自分では気付けないことを書いてもらったのが嬉しかったです。そのことで、自分に自信ももって、自分の目標を立てやすくなりました。

先生は、ぼくたちのことをしっかりと見てくれているんだなと思いました。クラス全体のこともそうだけど、一人一人をちゃんと見てくれているんだなって感じました。

「保護者等のコメント欄」には、どんなことを書くとよいのですか？

子どもたちがコメントを読んだ際に、自分の成長を周りの人たちが温かく見守っていることを実感することで、次の一步を踏み出す原動力になります。



「キャリア・パスポート」のメッセージ欄には、我が子のやる気が増すようなコメントを書くようになっています。保護者としてのコメントも蓄積されていて、読み返すとちょっと懐かしい気持ちにもなります。今後の我が子の成長も楽しみです。



「キャリア・パスポート」を見ると、孫の思いや学校での学習の様子が分かるので、嬉しい気持ちを伝えています。

お父さんより

1年間の成長は大きいですね。かずきか、がんばっていることは、知っていますよ。学習発表会でも活躍していましたね。さらなる成長を期待して応援しています。

おばあちゃんより

あんなに小さかっためぐみが、いよいよ高校3年生になるのですね。このキャリア・パスポートの字を見ても、成長を感じます。もうすぐ成人！夢に向かってさらに挑戦してってください。

川崎大朗(寿子屋先生)より

いつも元気いっぱい寿子屋にやってくるゆう子さん。その笑顔で周りの友だちも笑顔になっていきますね。その優しさをいつまでも大切に成長してくださいね。

身近な大人が見守り、応援しているということが伝わることで、児童生徒が自尊心を高めることができます。



蓄積が進むと、「キャリア・パスポート」は世界に一つだけの、自分の宝になりますね。

持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成につなげます。

学習指導要領の前文には、「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とあります。この「持続可能な社会の創り手となる」は、SDGsにつながるものです。「キャリア在り方生き方教育」を通して、SDGsの実現に向けて行動するために必要な資質・能力を育成していきます。



学習していくと、すべての学びはSDGsにつながっていることに気が付きます。川崎市が取り組んでいる「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」も、持続可能な社会を創るために大切な取組だと思えます。わたしも、社会の一員としてできることを考えて、行動していきたいです。



誰一人取り残さない社会をつくるために、一人一人が考えて行動できるよう「キャリア在り方生き方教育」を通して子どもたちを育みます。

